

STEP

令和3年11月 1日 第489号



腕によりをかけた見事な作品の数々

【わさむかぼちゃランタンコンテスト開催】

ハロウィーンに花を添える「第22回 かぼちゃランタンコンテスト」が開催され、その審査会が10月22日

行われました。今回は15の作品が出品され、眞鍋会長ら5名の審査員が技術性や美術性等の視点で審査をしました。いずれの作品もアイデアに富んだ力作「かぼちゃランタン」ばかりで、金賞には和寒郵便局の「トムとジェリー」が選ばれました。参加された皆さん大変ありがとうございました。審査の結果、上位入選者は次のとおりです。(敬称略)



金賞 ●和寒郵便局
作品名「トムとジェリー」



銅賞 ●和寒町スポーツ協会
作品名「お光のついでとNEWスポーツ協会」



銅賞 ●(株)浜田組
作品名「建設ピクトグラム」



銅賞 ●保健福祉センター
作品名「真夜中の保健福祉センター」



商工会長賞
●サンライト
作品名「翔タイム」



観光協会長賞
●(株)丸の商会
作品名「マルシメズ・インク」



実行委員長賞
●いこいのつたアマリス
作品名「コロナバイバイ」



商業部会長賞
●和寒町教育委員会
作品名「Cinderella's Pumpkin Carriage」

※出品された全作品は、商工会ホームページ、動画については青年部のフェイスブックでご覧いただけます。

【担い手交流親睦パークゴルフ大会を開催】

工業部会主催の「担い手交流親睦パークゴルフ大会」が、10月16日に総合運動公園パークゴルフ場で開催されました。大会は部会員の親睦と担い手との交流を目的に例年行われており、今回は総勢



10名が参加して、熾烈な優勝争いが繰り広げられました。成績は次のとおりです。(敬称略)

- ・優勝 合田正幸 57打
- ・準優勝 藤原信男 57打
- ・1位 田中誠一 58打
- ・2位 櫻井喜八 63打
- ・3位 水口光春 63打

【みんなのお庭。プロジェクト 第8回活動】

今年で8回目となる観光協会主催の「みんなのお庭。プロジェクト第8回活動」が10月2日(土)午前10時45分から三笠山「ふれあいのもり」で開催され、会員及び事務局員22名が、白樺5本、イタヤカエデ5本、エゾヤマ桜3本の苗木を植樹しました。ふれあいのもりでは、立ち枯れにより伐採する樹木が多くなっており、今後も植樹活動を行っていきます。



3年度 和寒町新型コロナ対策和寒元気！ プレミアム応援券販売事業 【販売期間終了まで 残り1ヶ月】

9月29日より販売開始した令和3年度「和寒町新型コロナ対策和寒元気！プレミアム応援券」の販売が、11月30日をもって終了いたします。

販売開始からほぼ1カ月が経過した10月29日現在の販売数は、発行総数16,800冊中15,520冊(販売率92.4%)で、販売終了まで残すところ1ヶ月となりましたが、会員の皆様には完売に向けたご支援及びダブルチャンス和寒元気！スタンプラリーのご協力をよろしくお願いいたします。



【10月の動き】

- | | | |
|--------|-----------------------------|----------|
| 10月 2日 | 町民植樹祭
観光協会みんなのお庭。第8回活動 | |
| 5日 | 上川管内商工会長会議及び上川総合振興局長との懇談会 | 下川 |
| 6日 | 女性部三役会議、女性部役員会
地域学校協働活動 | |
| 7日 | 法人会会員研修会 | 旭川 |
| 8日 | 工業部会役員会 | |
| 10日 | 上川ブロック女性部員研修会
東くによし事務所開き | 比布
旭川 |
| 11日 | 北海道コロナ対策支援施策説明会(わらい) | |
| 16日 | 工業部会担い手交流パークゴルフ大会 | |
| 17日 | 自民党和寒支部選挙事務所開き | |
| 19日 | 女性部三役会議
女性部芳生苑に捨布寄贈 | |
| 20日 | 商工会新旧役員歓迎交流会 | |
| 21日 | 全道商工会リーダー等研修会 | 札幌 |
| 22日 | かぼちゃランタン審査 | |
| 26日 | 上川北部人材開発センター理事会 | 名寄 |

～「税を考える週間」～

11月11日(木)～17日(水)

国税庁では、日頃から国民各層・納税者の皆様に租税の意義、役割や税務行政の現状について、より深く理解していただき、自発的かつ適正に納税義務を履行していただくために、納税意識の向上に向けた取組を行っています。特に、毎年11月11日から11月17日までの1週間を「税を考える週間」とし、この期間を中心に様々な広報広聴施策を行うとともに、税務行政に対するご意見やご要望をお寄せいただく機会としています。

今年の「税を考える週間」では、「暮らしを支える税」をテーマといたしまして、国民各層・納税者の皆様に日常生活と税の関わりを理解してもらうことにより、納税意識の向上を図ることとしています。

